

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 18		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 02.3998"										
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所				調査期間	平成29年12月15日～平成29年12月16日			東経	132° 17' 29.5664"								
調査業者名				主任技師			現代理人			コア鑑定者								
孔口標高	CDL	-1.30m	角	180° 上下 0°		方	北 0° 270° 90° 西 180° 東		地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		使用機種	試錐機	東邦D-1B58		ハンマー	半自動型	
総掘進長	6.00m		度	0°		向			エンジン	NS-110		ポンプ	東邦BG-3B					

標尺	層厚	深度	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	標準貫入試験			原位置試験		試料採取		室掘
										深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深	試験名及び結果	深	試料採取番号	
0.00	0.00	0.00	○	転石	淡灰			長さ40cmの花崗岩の硬い玉石。	0.00	買入不能	50						
1.00	0.20	0.20	○	コンクリート	淡灰			厚さ20cmのコンクリート。	1.15	1	24	2					
1.20	0.20	0.20	○	シルト質砂	淡灰	非常に硬い		粒径の揃った細粒砂。シルト分を含み、若干の粘性を有する。貝殻細片が点在する。	1.48	1	9	2					
1.80	1.20	1.80	○	シルト混り砂	淡灰	中		粒径の揃った細粒砂。少量のシルト分を含む。φ5mm以下の垂角礫が点在する。深度3.30mからφ5mm程度の礫が混じり。色調は灰色に変わる。	2.15	3	4	11					
2.45			○	風化花崗岩	淡黄褐	い		軟岩1。風化・変質が進行している。深度4.50m付近まで中～粗粒のまさ状。以深、粗粒のまさ状～φ4～6mmの礫状で一部は柱状をなす。角閃石は細粒化が進むものの、カリ長石や石英は砂や礫状で残る。柱状部分や礫片はハンマーもしくは指先で押えると砂又は細礫状に崩れ易い。	2.45	2	3	7					
3.15			○						3.15	2	3	7					
3.45			○						3.45	2	3	7					
4.15			○						4.15	41	9	50					
4.27			○						4.27	2	2	12					
5.10			○						5.10	50	6	50					
5.16			○						5.16	6	6	6					
6.05			○						6.05	50	5	50					
6.10			○						6.10	5	5	5					